

## 仙台市博物館協議会(令和4年度第2回)会議録

1. 会議の年月日 令和5年1月31日(火)

2. 開会及び閉会の時刻 午後3時00分から午後4時35分まで

3. 出席委員の氏名(五十音順・敬称略)

尾崎彰宏、籠橋俊光、佐藤憲子、高橋卓誠、長岡龍作

※鹿又喜隆、佐治ゆかり、伊達泰宗、森美智子委員はオンラインでの出席。齋藤敦子委員は欠席。

4. 説明者の職及び氏名

館長＝今井吏、副館長＝樋口智之、庶務係長＝村上明日香、学芸企画室長＝酒井昌一郎、

学芸普及室長＝水野沙織、指導主事＝村上聡

学芸企画室主任・記録＝菅原美咲

5. 議題及び報告並びに議事の要旨

(1) 会議録署名委員の選任

会長と高橋委員とする(高橋委員が急用により途中退席のため、長岡委員に依頼した)。

(2) 報告事項

① 大規模改修工事について(庶務係長報告)

「資料1」のとおり。

〔委員からの意見〕

総合展示室の年表や床面航空写真について東日本大震災以降の内容に更新する必要があると思うが検討しているか。

〔事務局からの回答〕

年表については、すでに東日本大震災の記述を追加している。床面航空写真については、床面の写真を踏むという展示方法について様々な意見もあることを踏まえ、航空写真の展示の廃止も含めて検討していきたい。

〔委員からの意見〕

LED化は展示室事務室含めて全館的に行うか。

〔事務局からの回答〕

一部展示室(3部屋)・展示ケースを除いて全館的にLED化する。

〔委員からの意見〕

今回の工事でLED化を実施できない展示室について、今後最終的にLED化する計画はあるのか。

〔事務局からの回答〕

館内部の段階だが計画している。

〔委員からの意見〕

改修により収蔵スペースは拡充されたのか。

収蔵庫自体のスペースは増えてないが、空調および防犯機能が収蔵庫に同等である3部屋約200平米を収

蔵庫に準ずる部屋として拡充した。また講習室を書庫化することで館内の収容スペースを広げる予定である。工事の最終段階では図面を提示したいと考えている。

②展示・公開について(学芸企画室長報告)

「資料2」のとおり。

③教育・普及事業について(学芸普及室長報告)

「資料3」のとおり。

④仙台市博物館条例の一部改正について(庶務係長報告)

「資料4」のとおり。

(3) 協議事項

①宮城県美術館での仙台市博物館所蔵名品展の開催について

「資料5」のとおり。

〔委員からの意見〕

宮城県美術館と仙台市博物館が連携した企画は、仙台・宮城へ来る観光客へのアプローチとしてとても有益だと思う。今回の展覧会を契機として今後も連携した展示等の方向性を検討してほしい。

〔事務局からの回答〕

現在協議を進めている部分もあるが、宮城県美術館からも非常に好意的な声をいただいております、これからの連携を深めるような機会にしたい。

〔委員からの意見〕

緑化フェア期間中に、昨年の科学的に復元した伊達政宗公の復顔像を緑彩館で展示する予定である。緑彩館も経由しながら美術館へ誘導できるような周遊方法を検討してほしい。

〔事務局からの回答〕

一緒に盛り上げていけるような方法を検討したい。

〔委員からの意見〕

江戸時代から杜の都へ至るストーリーには長い時間の経過があると思うが、今回の展示では、政宗以降の江戸時代を幅広く捉え、その変遷を追う視点も盛り込まれているか。

〔事務局からの回答〕

歴史的な文脈を展示ケースの中で伝えていく必要があり、宮城県美術館で使用できるケースに限りがあるため、時代の流れを点でつなぐことになってしまうが、その中で緑をテーマとして江戸時代初期から近代までを一息にビジュアル的に紹介したい。また、より深めた内容を当館の再開館後にご紹介していきたい。

〔委員からの回答〕

緑化フェアには全国からの観光客が来ることが予想されるため、「杜の都」を学術的に紹介するのもよいが、伊達政宗の交友関係など、わかりやすく人が呼べる展示も考慮する必要もあるのではないかと。

〔事務局からの回答〕

今回の展示では、歴史的な展示と美術館的な展示をどのようにすりあわせるか思案しているが、ご意見いただいた視点も踏まえ検討していきたい。

〔委員からの意見〕

テーマとしている緑の変遷をビジュアル的に示す手段としてデジタルの活用は検討しているか。

〔事務局からの回答〕

現状では、関連資料を並べて掲載し比較できるパネルの作成を検討している。

〔委員からの意見〕

最近の美術館ではデジタルを活用して会場内でビジュアル的な展示を行う手法が進んでいる。博物館内自前では難しいが、専門業者に後援や共催に入ってもらい、協力を得られればビジュアル的なインパクトがでるのではないか。

〔事務局からの回答〕

できることを検討したい。

〔委員からの意見〕

開催経費は県と市でどのように調整しているのか。来館者数はどの程度と想定しているのか。

〔事務局からの回答〕

開催経費は大まかには県と市で折半となる。教育旅行や仙台市外の学校団体の来館を期待しており、有料来館者として約3万人を見込んでいる。

〔委員からの意見〕

共催や後援といったスポンサーはないのか。

〔事務局からの回答〕

今回はそれらはなく、両館の自前で行う。

〔委員からの意見〕

「城下町から杜の都仙台へ」や、「杜の都の変遷」という部分の、歴史的変遷を語る資料が少ないのではないか。

〔事務局からの回答〕

パネルの中で、仙台の緑の変遷を動的に追える内容としたいが、先にいただいた意見も踏まえビジュアル的な工夫を盛り込んでいきたい。展示資料としては増やすことができないが、関連する情報を補いながら展示資料を補足する形で紹介していきたい。

〔委員からの意見〕

緑化フェア本体との連携はあるのか。具体的には杜の都を象徴する場所を散策・巡回する企画やそれらを紹介するマップなどの企画はあるのか。

〔事務局からの回答〕

緑化フェアの会場は追廻地区、西公園の旧市民プール、仙台市東部沿岸部、七北田公園になる予定で、その中でもコアゾーンとなる追廻地区と西公園周辺の巡回に、本展覧会を開催する宮城県美術館もできるだけ入れてもらえるように引き続き検討していきたい。

〔委員からの意見〕

現在仙台城への道路が通行止めとなっていることや、博物館が休館中という問題もあるが、博物館周辺の散策状況や周辺地域とのつながりについて、現在はどのように進めているのか。見学できる場所があると良いと思う。

〔事務局からの回答〕

現在は博物館館庭の巽門から本丸へ至る道などを案内しているが、今後仙台城の石垣といった史跡一帯の整備については文化財課と、また川内や公園一帯については青葉山公園整備室と相談しながら引き続き進

めていきたい。

〔事務局からの回答〕

展覧会に美術館所蔵の資料は展示しないのか。

〔事務局からの回答〕

美術館所蔵の資料は常設展示で展示していただく方向で調整している。

〔委員からの意見〕

常設展は展覧会に関連した内容となるのか。

〔事務局からの回答〕

現在調整しているが、できるだけ関連性をもった内容となるよう検討中と聞いている。

(4)その他

①令和5年度の博物館協議会開催日程について

「資料6」のとおり。